

一般社団法人公的保険アドバイザー協会は、都中央区の土川尚己代表理事(公的保険アドバイザー)が運営する資格「公的保険アドバイザー」は、健康保険、介護保険、雇用保険、年金保険といった社会保険(公的保険)についての横断的な専門知識を生活者に分かりやすく伝え、人生のリスクに適切に備えられるようアドバイスするスキルの習得を目的とする。同資格はもともと、代理業事を務める土川氏が生命保険を販売する代理店向けに公的保険をテーマにした講演を行ったことがきっかけだった。公的保険の知識は、顧客に生命保険を提案する際の社会保険の種類や「ねんきん定期便」などの基本的な内容について、参加者のなかで正確に知っている人がほとんどなかつた公的保険についての正

一般社団法人公的保険アドバイザー協会(東京都中央区、土川尚己代表理事)が運営する資格「公的保険アドバイザー」は、健康保険、介護保険、雇用保険、年金保険といった社会保険(公的保険)についての横断的な専門知識を生活者に分かりやすく伝え、人生のリスクに適切に備えられるようアドバイスするスキルの習得を目的とする。

同資格はもともと、代理業事を務める土川氏が生命保険を販売する代理店向けに公的保険をテーマにした講演を行ったことがきっかけだった。公的保険の知識は、顧客に生命保険を提案する際の社会保険の種類や「ねんきん定期便」などの基本的な内容について、参加者のなかで正確に知っている人がほとんどなかつた公的保険についての正

が増え、保険会社の社内研修に呼ばれることも多くなつたことから、2014年12月に協会を設立し、翌15年の8月から本格的に活動をスタートした。土川氏は「保険募集人が生命保険のプランを提案するベースとして、公的保険について顧客に分かりやすく伝え、必要な保障額との差額を説明することは、改正保険業法で義務化された情報提供であり、その上で顧客にどのような商品でどのくらい不足分を補うかを決めてもらうのが意向把握だ」と考えている。そうした公的保険についての正

確な知識を常にアップデートしておるのは保険のプロにとっての態勢整備であり、これら一連の仕事を顧客本位の業務運営と呼ぶのではないだろうか」と指摘する。

ウェブ上で受験できる公的保険アドバイザー資格は、受験料が2万700円(不合格で再試験の場合は5400円)で、申し込みを行い、受験に参加者

保険募集人に「顧客本位」の提案促す

一般社団法人公的保険アドバイザー協会(東京都中央区、土川尚己代表理事)が運営する資格「公的保険アドバイザー」は、健康保険、介護保険、雇用保



土川氏

た。土川氏はそれ以来、公的保険を徹底的に学び、保険募集人に公的保険の最新知識を身に付けてもらい、顧客に対し

て最適な保険プランを提案してもらおうと、セミナーをたびたび実施した。

2年とし、定期的に更新試験を受けることが定められている。会員は入会後、月額1080円を支払うことでの資格名を利用できるとともに、公的保険に関するニュースレターの配信、フォローアップセミナーの優待参

加、「ねんきん定期便」チェックツールの提供、公的保険に関するメールでの問い合わせといった各種サービスを受けられる。また、最近では、顧客に公的保険を説明するための動画も無料配信している。

一般社団法人 公的保険アドバイザー協会



の動画も無料配信している。月、大阪では2カ月に1回、セミナーを開催している他、保険会社の社員向けセミナーなども数多く実施している。本格的に活動を始めてまだ2年だが、受講者は延べ600人、資格取得者は1600人を数える。その9割以上が保険業界関係者で、とりわけ生保募集人が多い。近年は、銀行業界の受講者も増えている。金融リテラシーの向上にも貢献したい」としている。将来的には、会員数30万人を目指し掲げている。

頻繁に制度が変更される公的保険では、常に情報報をアップデートさせておくる必要があることから、同資格の有効期間を拡大に向けて、セミナーの実施の他、DMによる